

インドのオンライン英会話事業者 Multibhashi 社に出資

約5億人(*1)の英語学習者をターゲット

世界中のEdTechプレイヤーとの連携を加速し、ビジョンの実現を目指す

英語関連事業を運営する株式会社レアジョブ（以下、レアジョブ）は、インドのオンライン英会話事業者・Multibhashi Solutions Pvt Ltd.（以下、Multibhashi 社）への出資を決定いたしましたのでお知らせいたします。



レアジョブは、“Chances for everyone, everywhere.”をグループビジョンに掲げ、「グローバルに人々が活躍する基盤を作る」ことを目指して事業を展開しております。今後の経営戦略においても、事業のグローバル展開を重要な取り組みのひとつとして位置付けており、海外のEdTechプレイヤーとの提携を拡大しています。特に、成長性の高い優れたサービスを展開する企業を中心に積極的な出資を行っており、2019年6月にはタイのオンライン英会話事業者 Globish 社に出資いたしました。

■Multibhashi 社への出資の経緯

インドでは準公用語として英語が使用されており、英語話者人口は約1.2億人と世界2位の規模を誇ります。しかし、国全体の総人口から比較すると、英語話者の割合は総人口の約13億人のうち、約10%とごく一握りです。しかし、労働市場においては英語が話せるか話せないかによって、給与水準が大幅に変動すると言われていています。そのため、インドの社会全体で見ても給与向上における英語習得のニーズは非常に高く、潜在的には大規模な市場が見込まれます。

一方、インドの英語教育市場では、旧来型の高額な通学型教室の事業者や、独習やゲーミフィケーション(*2)に偏ったオンライン事業者しかいない状況です。そのなかで、Multibhashi 社は学習による成果に注目し、独習と講師によるレッスンを組み合わせたモデルを構築。ここ数年の取り組みで、

成果を重視した学習の完成度を高め、同時に独自のインド最大規模の講師ネットワークを構築し、事業を拡大しています。今後当社がグローバル展開をしていくにあたり、インドにおいて強力なパートナーシップを構築できる可能性を感じ、このたびの出資に至りました。

*1 総人口 13 億人のうち、Multibhashi 社がターゲットとしている英語学習者層

*2 ゲームデザイン要素やゲームの原則をゲーム以外の物事に応用すること

■Multibhashi 社との連携と今後の展開可能性

まずは、Multibhashi 社のローカルネットワークやこれまでの知見を活かし、インドの市場環境や他社動向などの情報収集を進めてまいります。また、それぞれのサービスやノウハウにおいて活用できるものがあれば、相互に取り入れることでシナジー創出を目指します。そして、Multibhashi 社と連携しながら、事業のグローバル展開を加速させる基盤をしっかりと築いてまいります。

今後もレアジョブは EdTech 企業のリーディングカンパニーとして、世界と渡り合える企業へと成長を目指してまいります。

■Multibhashi 社 会社概要

- ・社名：Multibhashi Solutions Pvt Ltd.
- ・所在地：Office no 214, Second floor, Arcade, Brigade Metropolis, Mahadevapura, Bengaluru, Karnataka India
- ・代表者名：Anuradha Agarwal
- ・事業概要：インドにおける英語学習サービス事業

【株式会社レアジョブについて】

所在地：東京都渋谷区神宮前 6-27-8 京セラ原宿ビル 2F

代表者：代表取締役社長 中村 岳

URL：<https://www.rarejob.co.jp/>

事業内容：英語関連事業

上場取引所：東京証券取引所マザーズ市場（2014 年に上場）

レアジョブでは、グループビジョン“Chances for everyone, everywhere.”に基づき「グローバルに人々が活躍する基盤を作る」ことを目指しています。サービスミッションには「日本人 1,000 万人を英語が話せるようにする。」を掲げ、マンツーマンのオンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」を中心に事業を展開しています。ビジョン・ミッションの実現に向け、EdTech 企業のリーディングカンパニーとして、国内のみならず事業のグローバル展開を推進してまいります。

■サービスミッションと「英語教育 3.0」

一般に、日本人の約 10%が「英語を学んでいる」ないし「英語を学びたいと思っている」と言われます。つまりサービスミッションの“1,000 万人”という数字は、「英語が話せるようになりたいと思っている人」の概数を象徴しているのです。

また、レアジョブでは“英語が話せるようになりたいと望む誰もが、英語を話せるようになる”状況を

「英語教育 3.0」と定義しています。

読み書き中心で、英語を話す機会が圧倒的に不足していた「英語教育 1.0」は、オンライン英会話サービスの普及により、英語を話す機会が圧倒的に増加した「英語教育 2.0」へと進化しました。これからレアジョブが目指すのが、英語学習の動機づけから学習方法に至るまで一貫して“成果”にフォーカスする「英語教育 3.0」の実現です。

レアジョブは EdTech 企業のリーディングカンパニーとして、テクノロジーの力を使って「英語教育 3.0」を、そしてサービスミッションの実現を目指し続けてまいります。

■ サービス関連情報

- ・ 累計無料登録ユーザー数： 70 万人以上※
- ・ 累計導入法人企業数： 2,200 社以上
- ・ 累計導入教育機関数： 230 校以上

※ユーザー数は、当社の英語サービスすべてのユーザー数を記載

■ 提供サービス

- ・ [個人向けオンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」](#)
- ・ [「レアジョブ英会話」法人向けサービス](#)
- ・ [法人向け「レアジョブ英会話留学」](#)
- ・ [教育機関向け英語教育サービス（株式会社エンビジョン）](#)
- ・ [2 ヶ月短期集中英会話プログラム「レアジョブ本気塾」](#)
- ・ [レアジョブ英語学習アプリ「RareJob Apps」](#)
- ・ [英語を手段にチャンスをつかむためのメディア「RareJob English Lab」](#)
- ・ [英語の価値を見つけるプロジェクト「WHY ENGLISH」](#)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社レアジョブ 広報 荒川、水口

メール：press@rarejob.co.jp TEL：03-5468-7401/FAX：03-5468-7402